

「亀山7座トレイル」

登山道観光資源活用協定を調印しました

～7つの山々を新たな観光資源として次世代へ継承していくために～



市域の鈴鹿山脈や布引山地を代表する7つの山々（仙ヶ岳、野登山、臼杵ヶ岳、四方草山、三子山、高畑山、錫杖ヶ岳）を亀山7座とし、それらを結ぶ登山ルート“亀山7座トレイル”を開発し、新たな観光資源として次世代へ継承していくため、石水溪観光協会、学校法人鈴鹿享栄学園鈴鹿高等学校、(公財)亀山市地域社会振興会と亀山市が協定を結びました(5月18日)。

今後は、それぞれの役割分担のもと、魅力発信、トレイル(登山ルート)の整備、維持管理活動、ルートマップの作成などに取り組んでいきます。



亀山市名誉市民

彫刻家 中村 晋也

作品紹介「ふるさとあい」Vol.24

「影法師」(平成19(2007)年制作)

「影法師 我となりし 蛙かな」 一茶

小林一茶は、数多くの蛙の句を作っています。蛙は、か弱く小さな体でもその鳴き声から、人を圧倒するたくましい生き物と受け取っていたようです。一茶にとって、蛙はまさに「いとけなき生命」の象徴なのかもしれません。庭先に腰かけた一茶の影の中にひっそりと佇む蛙は、一茶の分身のように思えたのかもしれませんがね。「蛙とはなかなかエライもんだな」と、一茶のつぶやく声が聞こえてきそうです。この作品で中村は、夢見るような一茶と蛙との何ともいえない親近感を表現しています。



30cm(高さ)×27cm(幅)×19cm(奥行き)

特別協力 公益財団法人中村晋也美術館 (URL <http://www.ne.jp/asahi/musee/nakamura/index.html>)